

平成29年度 第4回学校運営協議会議事録

1 日時 平成30年1月18日（木）午後3時30分～午後5時

2 場所 本校会議室

3 次第

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

(3) 教育委員会あいさつ

(4) 日程等説明（事務局教頭）

(5) 議事

ア 学校からの報告

① 教務部

② 生徒指導部

③ 進路指導部

イ 各分科会報告（総括）

ウ 質疑応答

エ 意見交換

(6) 講評

(7) 校長よりお礼

(8) 閉会のことば



4 議事録

(1) 開会のことば（教頭）

(2) 校長あいさつ

皆様、こんにちは。本日は第4回学校運営協議会にお集まりいただきまして、御多用中のところをありがとうございます。今年度は今日で最後となりますが、1年間コミュニティスクールの活動に御理解いただき、ありがとうございます。生涯学習課の担当者様にも4回とも御出席くださり、ありがとうございます。

本日お配りいたしました『多古高生の活躍 改訂版』には野球部が東部地区の大会で優勝したことを載せてあります。秋から冬バージョンを1月末までに完成させて、町内に回覧する予定であります。別紙で地区の書道部・美術部の合同展開催の紹介がございますが、案内状にある『書』という文字は本校生産流通科1年生・書道部の生徒が書いたものであります。他には、久賀小学校に本校生徒4名が訪問し、英語のアシスタントをつとめさせていただきました。多古第一小学校には、図書委員の読み聞かせ活動でお世話になりました。俳句・川柳において、また明るい選挙啓発運動の標語の部で、来週表彰を受ける生徒もおります。生産流通科の活動も千葉日報と連携して、広く知らせていこうと思います。生徒の感性は発表の場があつてこそ、より輝かせることができます。可能であれば広報に載せていただきたいと思います。前回、委員長から『魅力ある学校づくり』に下総高校が選ばれたことを伺い、多古高校もエントリーすることを提案させていただきました。本年度の取組みをエントリーシートにまとめたところ、結果として最上位の『教育長賞』につづく『優秀賞』（5校が選出）をいただくことができました。

本日は今年度最後になりますが、御意見を多数いただきたいと思います。宜しくお願いいたします。

(3) 千葉県教育委員会あいさつ（生涯学習課学校・家庭・地域連携室主査）

こんにちは。本日は4回目ということで、早いもので最後となります。様々な取り組みが行われているのは、多古高校のホームページや多古町の広報で知ることができます。小学生との大根の栽培・収穫や英語の学習サポートなど、地域との連携による多古高生の活動の高まりを感じます。地元企業の協力など、今後ますます活動の拡張がはかれることを期待いたします。

(4) 日程等説明（事務局教頭）

議事録は公開される。委員の方々には、事前に議事録の確認をお願いする。会議中写真を撮影し、学校ホームページに載せる予定である。了承していただきたい。

(5) 議事

ア 学校からの報告

①教務部（教務主任より）

学校評価アンケートを実施した結果を冊子にまとめましたので、御覧ください。概ねほぼ全員の生徒に回答してもらっている。保護者については約半数である。4段階の評価をポイント化してある。ポイントが高いのは良い評価を得ている。ポイントが低いものは、あまり評価が良くない。学習面においては、個々の生徒の授業への取組みは良好である。クラスで見ると若干評価が下がる。今後の指導に工夫が必要である。進路の適性については、教員が生徒一人一人の状況を把握していることが必要である。保護者のアンケートからは、わかりやすい授業をしているという評価を得ているが、保護者が授業を見に来る機会が少ない。今後機会を増やしていきたい。朝学習については、学年の指導が徹底してきていて、良い感じになってきている。3年生の教材については10月に終わるものを使っている。今後、進路指導部と検討していきたい。進路指導については、生徒にきめ細かい指導をしている

が、保護者からみると情報提供が少ないと見られている。検討していきたい。教育相談は、スクールカウンセラーの先生を交えて充実している。家庭との連絡など情報交換を密にしていきたい。生徒指導部の安全指導は数多くの機会を設けて、徹底的に行われている。その他としては若手の先生にホームページに新しい写真や情報をアップしてもらい、情報を発信している。

議長より

かなり良い評価がでている。そうでない評価についてはよく分析されているといえる。

教務主任より

現在インフルエンザ等、体調不良の生徒が多数でているが、しっかりした授業、学習指導を行っている。3年生は3月8日に卒業式、1、2年生は3月23日までの間にさまざまな行事が予定されている。

②生徒指導部（指導部長より）

委員の皆様、朝のあいさつ運動でお世話になっている。ブラスバンド部が1月に初めてジャズ・フェスティバルの東日本大会に出場した。生活安全指導については、JAFにきてもらったり、香取警察のロールプレイングによる指導を原付通学生徒66名に行ってもらった。校内も含め年間5回にわたる徹底した指導を行っている。LINEを使用する際に気を付ける事例をLINE(株)の方に講演してもらった。特別指導については、昨年より数が減少してきている。

③進路指導部（進路主任より）

進路が未決定の生徒が10名ほどいるが、これから進学的一般受験する生徒が4

名いる。進学については、先日の大学入試センター試験を受けた生徒は、これからリサーチ、二次対策を強化するところだ。本日、一年生は体験型の進路ガイダンスも行われ、担任の先生と面談を密にし、進路決定への早めの意識づけをさせていきたい。来年度入学の生徒から大学入試改革があり、新テストに移行する。先生方のお知恵をお借りしながら対応していきたい。

④総務部（総務主任より）

今年度をふり返って、校外の関係機関、PTA、同窓会との連携、校内の儀式等滞りなく行うことができた。中でも110周年周年記念式典は委員の皆様の御協力を得ながら、無事に挙行することができた。110周年記念誌の発行についても、計画どおり進められ、年度末までに御覧いただけるよう準備している。

イ 各分科会より（1年間の総括）

（学習・進路指導分科会）

多古高校生の活躍がめざましいものがあった。多古高生からの一言メッセージが非常に良かった。OB・OGからの中学生へのアピールが効果的であった。学習面では、少人数制を採用していることによって、生徒の授業態度が向上し、授業開始前からの着席が定着した。生徒と職員の間関係も良くなり、CS委員の方々のあいさつ運動の成果と先生方の努力ともいえる。生徒個々に対する進路指導がとても充実している。CS委員の中でも面接指導など、協力できることがあるのではないかと。様々な取り組みが試行されてきたが、今後も意思の疎通をはかり、CS委員の中での温度差を縮めていきたい。

（生徒指導分科会）

朝のあいさつ運動もたくさんの方々からの協力をいただき、有意義な時間となっ

ている。お互いの姿から多くを学ぶことができる。10月30日から1月17日までの45日間で400余名の参加をいただき、1日平均8.9人、4月からののべ142日間で1266人が参加している。CS委員以外にも地域の方々の御協力、近隣住民、役場職員、楨の実会、生徒会など周囲が一体となって子ども達の成長を見守っている。基礎基本ができ、感謝の気持ちが素直に出せる、多古高校の生徒を社会貢献できる人間に育てることができると思う。あいさつ運動はこのまま3月までやっていくので、引き続き御協力願います。

(小・中・高・地域連携分科会)

先ほど、校長先生より多古高生の活躍について説明がなされた。小・中・高の連携や様々な行事に参加しているようだが、地域の人々に周知がされていない。これから町の広報誌等に声をかけていきたい。野球部や吹奏楽部などが地域から支援を受け、演奏や野球の指導などで地域の小中学生に還元していくことが必要であろう。久賀小学校での英語指導のアシストなどは理想的な事例である。昨年11月の県の改革プランの関係で県職員が町を訪問した。多古高校は成田空港に隣接し、道路網も整備されつつある。空港も拡張され、雇用機会が増えてくれば、多古高校の存在意義も高まってくると思われる。町の発展と合わせて、引き続き地域と連携して、生徒が増えていくよう努力していかなければならない。

小・中・高だけでなく、幼も入れてもいいのではないかと。チーム多古として、こども園も含めて研修を行うべきである。今後の日本では幼・小・中・高が連携していくことが提唱されている。多古高の存続のためには連携を強化することが急務である。



ウ 質疑応答

エ 意見交換

議長

以上に関して委員の皆さまから意見を出してもらいたい。

委員

小学校には様々な部活動の指導に多古高生が顔を出してくれている。図書委員による読み聞かせ活動や生産流通科との稲刈り・おにぎり作りでも、高校生の姿を頼もしく感じている。先日の鶴陵祭におけるミニ集会での高校生の発言の素晴らしさには感動した。部活動に真摯に取り組む姿勢、地域の行事に参加したいという意思、施設設備をよくしようとする努力など、生徒の意見をもっと聴きたいし、もっとたくさんの人にも聞いてもらいたい。生徒の生の声が聞ける機会がもっとあるとよい。

委員

先日、下総高校の3年目の職員が企業研修にきた。朝のあいさつ運動に同行してもらい体験してもらった。とても良い試みであると感心していた。

委員

地元企業の多古高生の採用状況はどのような状況なのか？

進路主任

企業の方が個々に進路室に来て、求人をいただいている。今はハローワークが中心で生徒を集めて相談に応じている。できれば地元の企業に生徒を送り込みたい。2年生は成田空港を見せて貰い、OBから仕事についての説明を受けた。インターシップの目的をはっきりさせて、企業に行かせないと意味がない。

委員

小・中は地元で職場体験をさせてもらっている。多古町の企業との交流は、学校さえ前向きになれば実現可能である。

委員

ここ10年で、多古高からのわせがく高校への転入生は徐々に減ってきている。生徒層が変わってきていることを感じる。全日制で卒業を目指せなかった生徒も高校の課程を修了させることを目指す。わせがくのサポート力と存在意義をアピールしていく。

委員

P T Aの立場から言うと、佐原・匝瑳高は進学に強い、多古高校は就職に強いと言われるよう特色を出して、企業に間口を拡げてアピールしてもらいたい。多古の特色、魅力を強調してもらいたい。

委員

皆さんの意識が高くて勉強になった。郵便局も職員採用の面では間口を拡げているのでよろしく。

委員

役場で広報誌を作って3年目になる。多古高からイベントのスケジュール・行事計画をいただきたい。役場の広報係をもっと活用していただきたい。多古高生の活躍を伝えていきたい。

委員

子ども会の指導を行っている。あじさい祭りの運営などを行っているが、多古高の部活動に入っている生徒がと子ども会の活動の支援を行うのはなかなか難しいと思う。多古高生で子どもたちと活動したいという生徒がおりましたら、今後とも宜しくお願いしたい。

委員

1年間をふり返って、日本史の授業の一コマを手伝わせてもらった。まさに開かれた学校であるといえる。明治40年からの長い歴史のある学校である。基本的なことが身につけば社会に出てもいかなることも通用していく。子ども達と関わりを

もつことができありがたい。地域の方々の協力もありがたい。今後とも校門に立つことは継続していくので、御協力をお願いしたい。

議長より

多古町として、語学研修を目的に短期留学派遣事業を検討している。多古高校の生徒も対象として考えている。成田空港の拡張にともない、語学教育は推進していくべきである。センター試験受験者が増えたことは喜ばしい。予備校のサテライト授業を取り入れている高校がある。進学指導面で保護者が不安に感じることがないよう町としてそのような取組を支援していきたい。今後も吹奏楽部の支援をしていきたい。

多古高職員より

今年度の学年行事として、外部の就職ガイダンスは成田空港だけだった。できればそれ以外の所も見学させたい。できれば多古町にある企業も見学させたい。移動手段がないので、多古町のバスを使わせてもらいたい。研修等にも町のバスを活用したい。

(6) 教育委員会より講評

今年初めて、CSの担当となり、本を読んだり、他の学校を訪問して、どんな協議をしているのか勉強してまいりました。多古高校は非常にレベルが高く、地元と高校のむすびつきが深いことを感じました。多古高の10年後、20年後を見据えて、どうしたら地元企業に就職で送り出すことができるか、地元に貢献できる生徒を育てるか大きな課題です。学校運営協議会は非常に力があると思いました。

(7) 校長よりお礼

最後に一言お礼申し上げます。意見交換の時間を長く取って良かったです。短期留学生のお話も興味深いです。来年度にむけて、学校経営のスタートをきるにも、

大人だけで話し合うのではなく、生徒の声を生かした取り組みが少しでも増えていくようにしたいです。今後も学校運営協議会のことを是非宜しく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

(8) 閉会のことば (教頭)